





「考古学」と言うんだよ  
調べるお仕事を

こういう昔の人たちが  
どんな暮らしをしていたかを



二千年前の人たちが使っていた道具なんだよ

これが「埴輪」、  
これが古代の陶磁器だよ



きよめた!

わたし、

ええっ!?

「こうこがく」になるっ!!

?





# 聖邪の刻

—せいじゃのことわり—



…本当に何も食べてなかったんですね (全身口のようなだ)

申し遅れました  
私はこの教会の  
管理をしております、

「ユメノ」と

申します

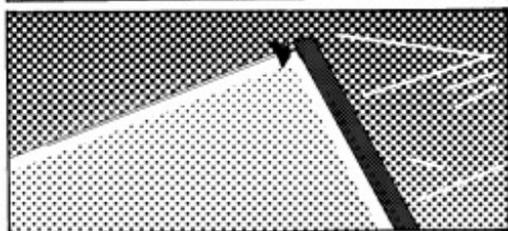
…ごちそうさまでしたっ!



駆け出しの  
考古学者なの

(空回すまで) 危ないところ  
助けてくれて  
どうもありがとう

私は「アリア」



考古学者  
なんですか  
ということは、  
ここへは何かの  
調査で？



### 「邪のモノ」とは、

22年前、考古学者アムネイストーンによって証明された、かつて存在していたとされる高知能生命体のことである。

世界各地で見られるいわゆる「悪魔」や「鬼」などが「邪のモノ」でないかとされているが、現在は絶滅している。

彼らは独自の文化形態を形成し、人間より頑丈な体と、人間以上の知性を持っていたとされている。

今現在、「邪のモノ」専門の考古学者は多く、最も注目が集まっている学種である。

ぺらぺらぺらぺら...



「邪のモノ」が生活して  
いた遺跡が、  
あの山に  
あるわけなの!!



だぜ  
めつ  
でつ  
すたい  
!!!

...は?

だから山まで  
案内して  
くれる人を...

...です

え?



あの山は誰も寄り付かないし、  
熊とか鹿とかたむろしてるし、  
そんなところに行かせるわけには  
いきません!!  
あなたを!!



あとに山か  
行かなく  
さいか  
はあ、  
いっす  
は下さい!  
はい!

(24歳!?)



何なのよ一体...







伝道師と  
ユメノがよく  
入り浸っていたね

伝道師？

もぐもぐ

2年前から村に  
住んでいた旅の人さ

あの二人はいつも  
一緒にね  
けどんな用事か知らな  
いよ  
けどよくあの山に行  
っていたよ  
たまたまに傷だらけで  
帰ってきてね

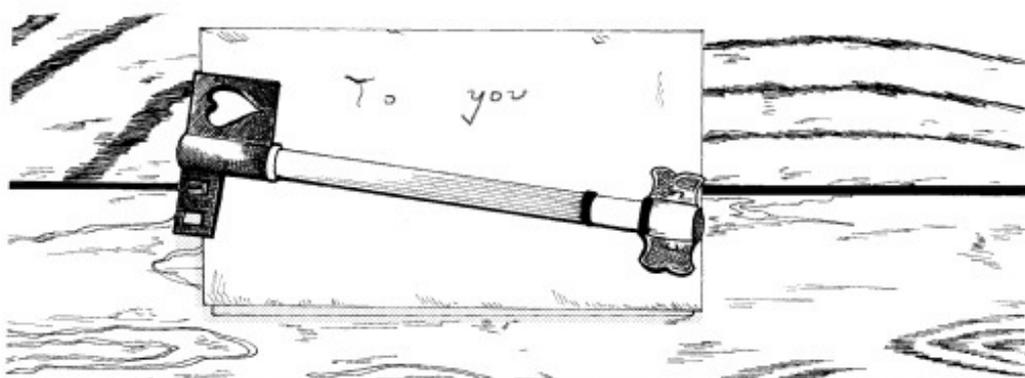
でも、半年前  
伝道師は亡くなってね  
それ以来、ユメノは  
山には行ってないけど

ふん…  
(熊?)

もぐもぐ

務めを、果たさせー







A. アリアベ  
Ma. and Ker. 山の地図と  
to 遺跡の鍵を置く  
Tend to you. 14  
To 朝日が昇るまでに  
Su 帰ってきたれし age  
tomorrow.

ガ  
チ

やつぱり熊なんて  
いなかっただじやない！  
人の目が気になる  
ならそう言えば  
よかつたのに



ここね







見た目に騙された……

まさか調査のために盗みまでする人だったなんて……

なんとかあそこに行くまでには止めないと……

務めを、果たせー

ウウウウ  
ウウウウ

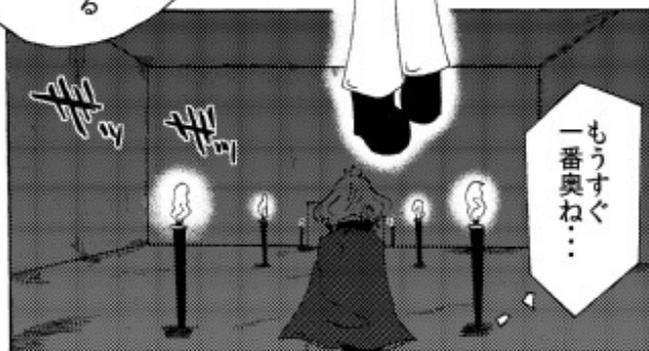


ふうん  
中の損壊は  
悪くないし、  
空気も淀んでない  
から調査はやり  
やすそうね

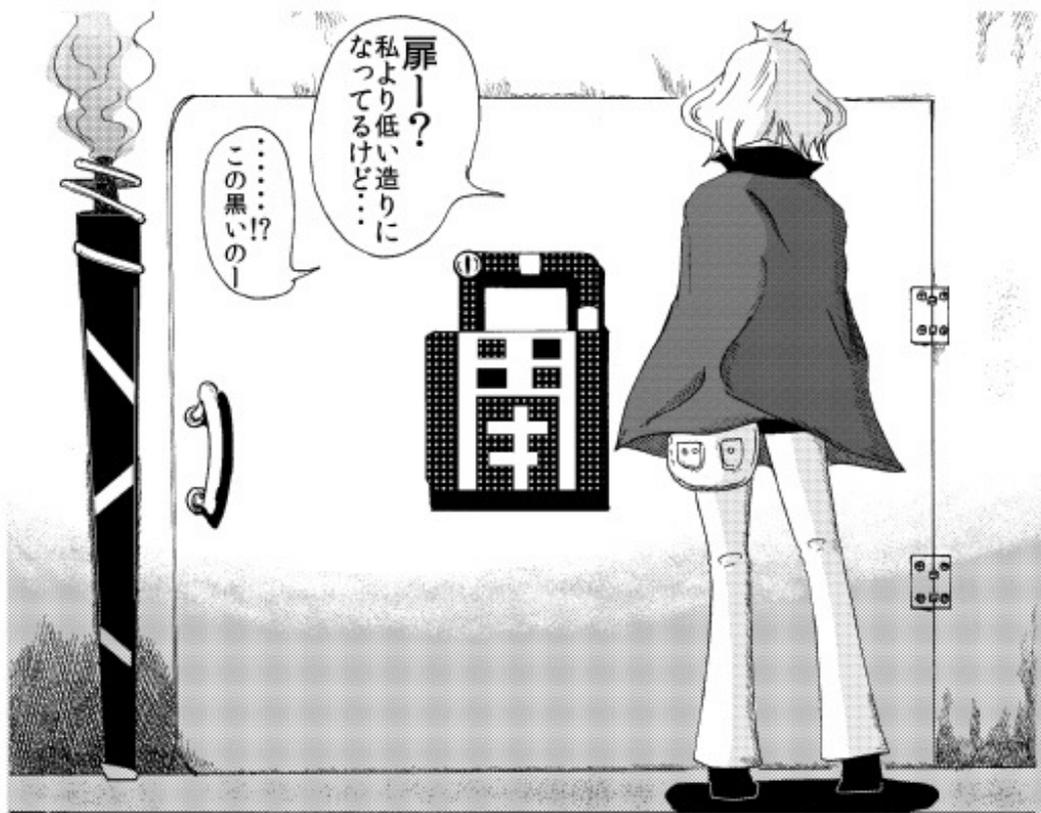
邪のモノに関する  
何かのあれど  
どいかけしら



!?



もうすぐ  
一番奥ね...





よっ！

おれっちはダビデ  
「宝物狩獵人」さ

悪いが  
あんたを尾けさ  
せてもらってた

ハンター!?  
一体何の用なの!?

まーそんな  
固くなりなさんなつて  
あんさんをどうする  
つもりもないさ

そもそも

あんたに鍵を渡した  
のは  
おれっちなんだぜ?





おれっちの生業は  
「宝物探し」

この地に宝があるという  
情報をかぎつけ、  
遺跡を管理している小僧から  
鍵を盗むまではよかつたんだが

その扉だけは  
何をどうしても  
開けられなかつたわけで

あきらめかけていた  
所だったが...

なんと古いものに  
精通している考古学者様  
が小僧と話しているのを  
聞きつけてね

あんたもここを調査した  
かったようだし、  
手を貸してやった訳さ

さて...



早速その扉を開けてもらおうか

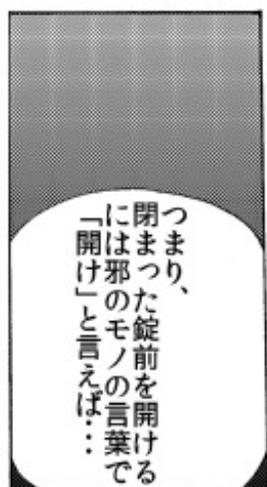
開けるのはいいけど...

これは「**邪錠!!**」邪のモノが使用してたとされる錠前!

どうした?

と言っても聞くような頭とは思えないしここはおとなしく...

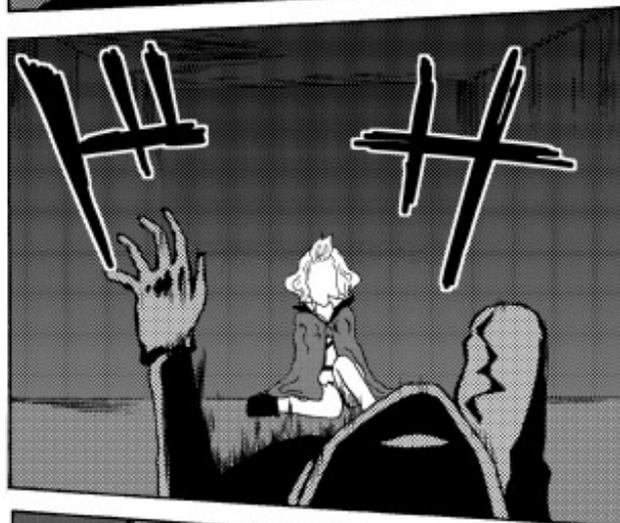
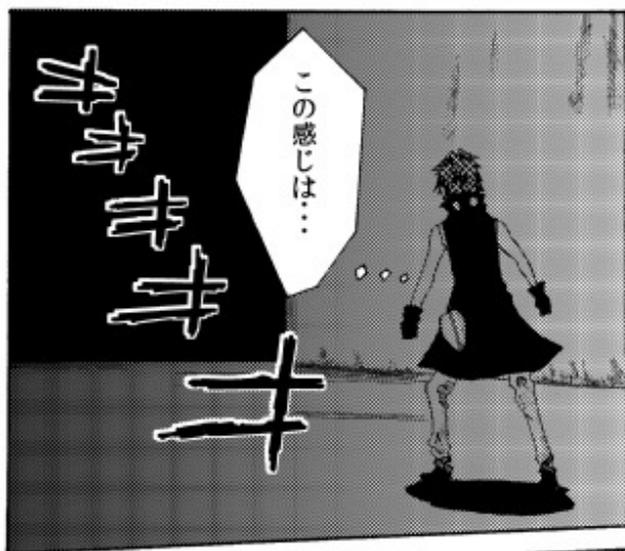
これは私たちが使う一般の錠前と同じで、鍵さえあれば簡単に開くから中に宝があるとは思えないけど...











「邪なるモノ」……？

其の様に呼ばれるのは  
幾数年ぶりか……

生存している  
邪のモノがいた  
なんて！

マジ  
!?!

ところで……

今日はやつは  
いないのか……？

？

いないのかー？









さっきのやつは  
一体何!?  
それにここであなたと伝道師  
は何をしていたの!?

あれが邪のモノなら  
とんでもない発見...

勝手さ、あれを盗んで、あいつに  
殺されそうになつてもまだ  
知的好奇心でつかうか? もの  
少しは危うい感じがするもの  
持っただらどうですか



あ、あれは私じゃ  
ないけど  
反省はしてるわ...

もう遅い

あなたは  
パンドラの箱を  
開けてしまつた  
んです

こうなったらー





え!?!...



あいつの名は  
「豪馬」  
カルダツ

この辺りを牛耳っていた  
「主」で、悪行を尽くしていたが  
いにしえの聖人によって  
この遺跡に封印されていた  
んだ

この町を含む一帯の生命が  
滅びるー!!



でも  
その封印が解けかかって  
いることを  
知ったオレの師匠、  
伝道師が  
町に向かった



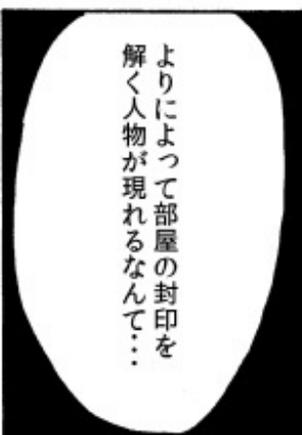


師匠は主を再び封印する  
のにはなく、消滅させるため  
にあの部屋で何度も闘ったため

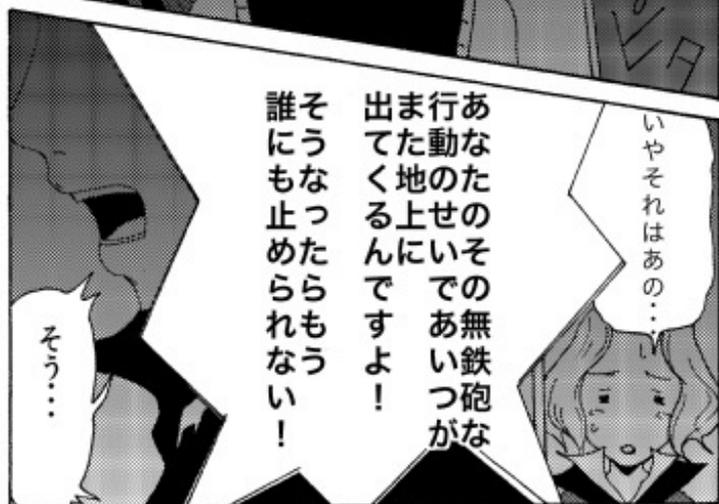
最初強大だった主の力も  
段々弱まり  
半年前まで上手くいって  
いたのに…



どうやってあの  
銃前を  
開けたんですか!?



よりによって部屋の封印を  
解く人物が現れるなんて…



いやそれはあの…

あなたその無鉄砲な  
行動のせいであいつが  
来た地上にいますよ!  
そうならもう  
誰にも止められない!

そう…

師匠はもう  
死んでしまっ  
てるんだから  
!!!

なーーーーーるほどね





前回の闘いから半年……

あまりに時間が  
経ちすぎて、  
思っていたが、  
まさか死んでいたとはなあ

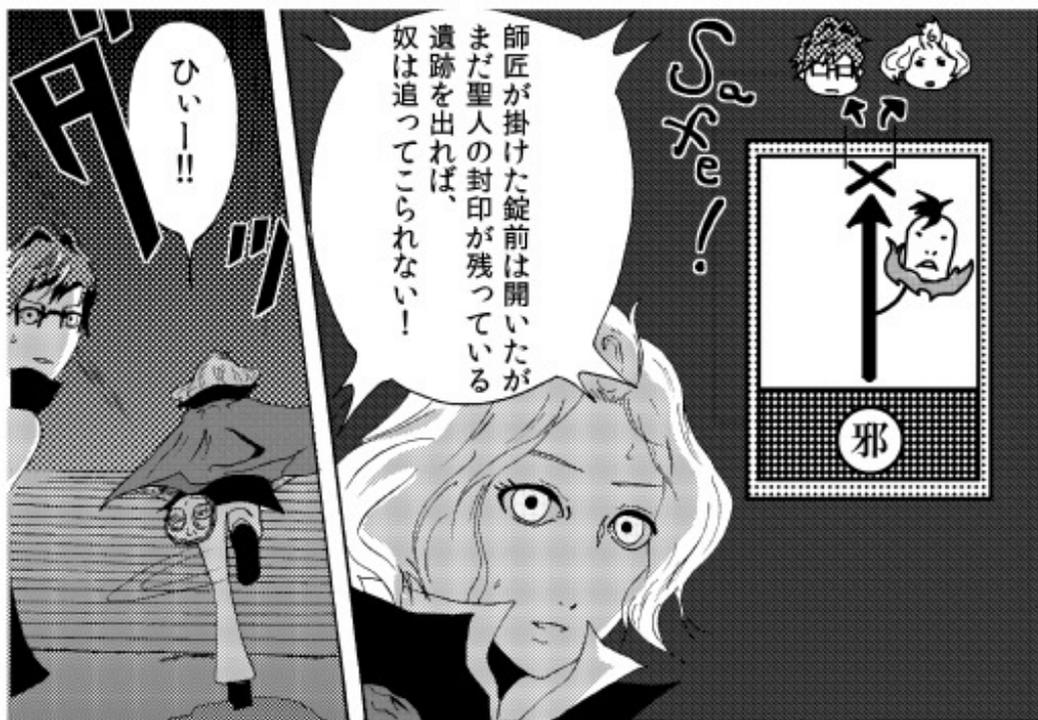
まずい……

となればもう  
我を阻むものは何もない……

そうだろうか？ 童



逃げろ!!





まだ  
これだけの  
力が…!!



狙いは…!



見ているのは…  
オレじゃない!?



ユメノ!?

どつ!!

カッ  
カッ  
カッ  
カッ



くっ…  
もうすぐ出口なのに…!

お前は先程、錠を開けたのは  
あの娘のせいだと言ったが

伝道師が死んでから  
お前は何かしてきたか？  
町の住人達を逃がすこともせず、  
ただ安穏と時を過ごしてきた  
だけではないのか？

カカカカカカ

結局、この事態を引き起こしたのは  
他でもない…

カカカカ  
カカカカカカ



お前自身の業だ



あなたの無鉄砲な  
行動のせいで  
あいつは地上に  
出てくるんだ

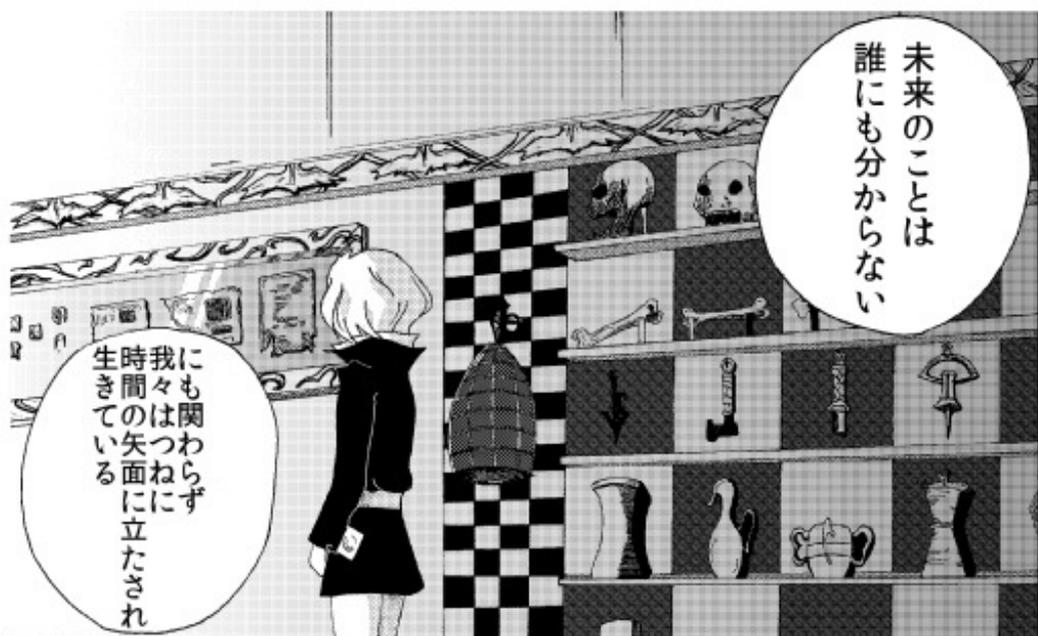
殺されそうになつて  
もまだ知的好奇心  
ですか？  
少しは危機感を  
持つたら  
どうですか



どうしよう…  
ユメノが捕まってしまった  
私がどうにかしなきゃ…



アリアー





アリア

時として未来が  
巨人のように恐ろしく見える  
日もあるだろう

しかし、今の私の話を  
心に留めておいてほしい



未来は必ず  
今を通して  
過去になる

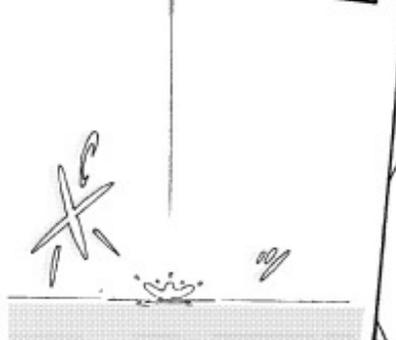
変わることが無い  
過去なら  
惨めな方と、  
誇らしい方  
どちらを選ぶ？



そうよ  
まだ、邪のモノは遺跡から  
出てないし、  
ユメノも生きてる

惨めな未来なんて  
絶対にいやだわ  
……!!

「考古学者」として  
邪のモノの弱点を  
見つけ出してやる!!



なにそれすごく興味ある！  
これは次の論文のネタにこと  
欠かないって、バカ！





今日からここに  
住むことになりマス

あの山にいる「主」から  
この一帯の生命を守るべく  
消滅させマス



今回の闘いの最後に、  
あなたの「開珠」も  
行うつもり입니다から



ユメノ  
あなたも私と一緒に  
遺跡に行き、  
私の闘いをよく見て  
おくのデス

分かった  
がんばってね

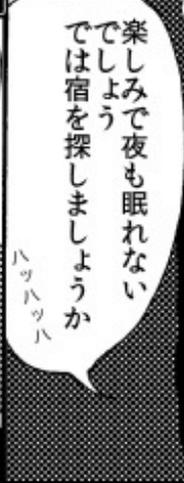
おっと  
私だけががんばるの  
ではないデスよ



別れが  
こんな  
早く来るなんて……



その時は  
思いもしなかった



楽しみで夜も眠れない  
でしょう  
では宿を探しましょうか



ええ!?

ハッハッハ





邪のモノの  
弱点なんて  
いくら探しても  
見つからない…

だめだ…



つてかともとも  
生きている個体すら  
見つかってなかったん  
だから、  
弱点なんて分かるわけ  
ないじゃん…

人間より強じんな  
体だし、どうすれば  
…

「務めを、

果たせ」



……って、  
ちよっと待ってよ!?!

何の務め…!?  
この状況に…!?

そんな  
訳の分からな  
い言葉にどんない  
意味が…



何!?!  
…?

「務めを果たせ」  
…?

務めを…

果たせ…



いよいよ再び  
私の時代が訪れる……



地上に帰った  
暁には、  
人間共の血で  
我が大地を  
潤そうか……



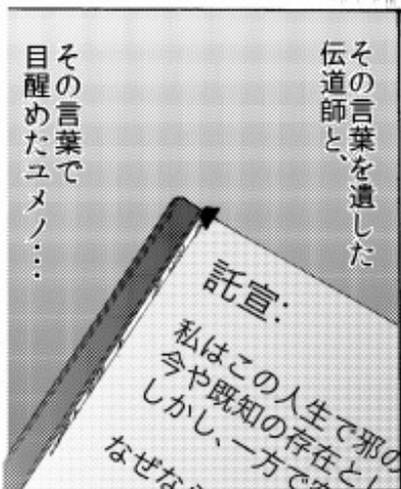
伝道師も  
草葉の陰で涙を  
飲んでるだろう  
な……  
くっくっく……

「アルルアーニ  
務めを、  
果たせ」











あなた達は  
一体！

何者なの！？

オオオオ



よし！  
これがオレの  
カ！

って、  
どうやって  
使った！？



隙だらけ  
だぞ

…!!  
くっ！



「プレジエネルダ  
守り抜け、」

!?!



ガブリエンネ  
信念を」

これは防御の  
言葉……!

あの女……

おおっ!



ミカエリオン

力を」!!!





我は、王ー

絶対的な、生命の頂点

そう、人間などー

人間  
ごにきー!!!

我は、誰だー

!!あやき

!?

ガ





ルネロアンジェ  
駆け急げ、



……貴様は羊だ  
ユメノ



ラファエリー  
運命を」  
……ってね

アリアが言った  
とおり言ったら  
動いた……





お前はー



そうか、お前は、「力」



せっかく生まれた力をなぜ使わないのかと。  
だからお前はー





「ルネロアンシエ  
ラファエリ  
駆け急げ、  
運命を」



…何?



なぜ  
女だけを—



!!?





思い出したんだ



アリアが力を使う時に、どうしていたか



そのモノを!!!!



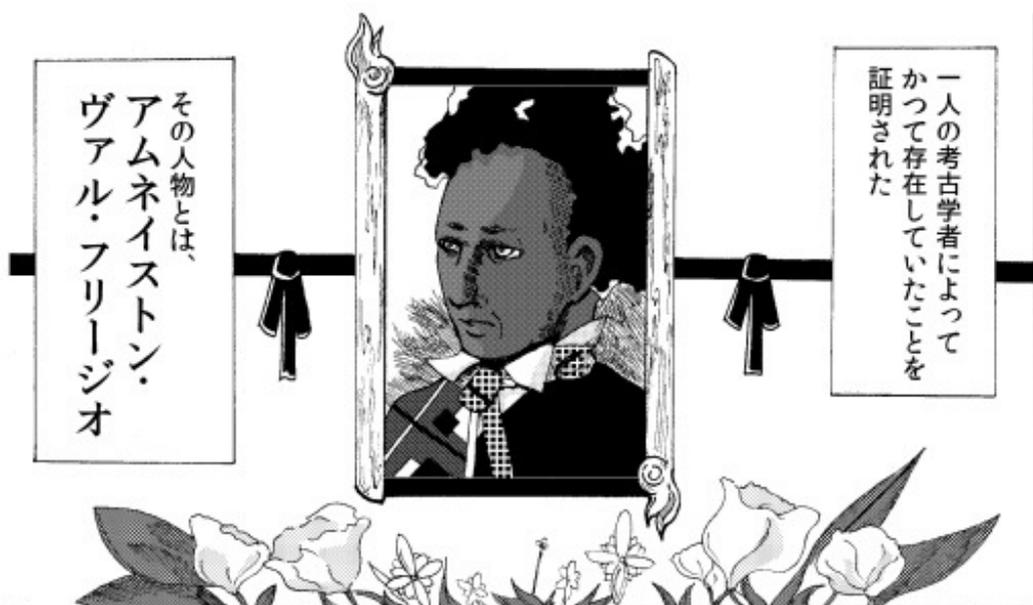
はっはっ!!

どうだ人間!  
これがー

「邪のモノは一

ぐあああああ  
ああああ!!!

!!!!



その人物とは、  
アムネイストン・  
ヴァル・フリージオ

一人の考古学者によって  
かつて存在していたことを  
証明された



彼は、邪のモノという存在の根拠  
から、生態、生活、文化形態までを  
発見、論文を発表し続けた

考古学界に邪のモノという  
新たな分野が登場した  
衝撃はすさまじく、  
彼に続く邪のモノ専門の  
考古学者たちが続出した



その輝かしい彼の人生だっ  
たが、晩年発表した  
(彼にとって最期の)論文は、  
考古学界を困惑させること  
になる

その理由は、それはあまり  
に突拍子もない、根拠も  
見当たらない代物であつ  
たからだ  
その本の名は一



アリアもまた  
その一人である

## 「聖邪のコトワリ」

「これまで私が示してきた様に、世界には人間の他に邪のモノという歴史の影に生き続けてきた種がある。私は彼らの生態、文化を研究し、彼らを光と陰のうちの陰だと表現してきた。それは正しいと思っっている。」



「だが、光については私は誤解をしつづけてきたことをこの場で謝罪したい。私は長年、人類というものがこの世界での「光」、ひいては邪のモノの対岸にあるものだと思っ続けてきた。」

しかし、それは私が人間であるために思っただけ先入観である。そう、世界にはまだ見つけられていない道の種があるのだ。彼らこそが、光と陰の光にあたるものたちなのだ。」



私は数年前、一度だけ彼らに出逢った事がある。彼らは、容姿こそ我らとほとんど変わらないが、言葉によって発現する守護天使のような存在を扱えるのだ。」

「中略」

「少しかけたが、守護天使を制御する言葉を教えてもらった。」

アルルアーニ ラグナレク  
務めを、果たせ  
ブレジェネルダ ガブリエンネ  
守り抜け、信念を  
ルネロアンジュ ラファリエー  
駆け急げ、運命を  
グラシエル ミリエリオン  
示せ、力を  
そして、  
ソルノラント  
「証明せよ、」



メ シ ア イ オ ー ン  
聖なるモノであることを」





ガキガキ

そんな  
バカなことが…  
我が…



この我が  
貴様らごとき  
に———!!!

務めを、果たせ、ユメノ  
「聖なるモノ」の名に恥じぬように—



やっと…

あなたとの約束を果たせるよ、  
師匠



現在の学会では「聖邪のコトワリ」は夢物語とされている

証明のない仮説など空想でしかないのだ

だけど、そう、もし誰かがー

そして、私は  
そのカードを持っている  
けどー

それを  
証明できる日が  
来たとしたらー？

私は、その未来が素直に喜ばないでいるのだー





未来が巨人のように見えているかもね…でも、恐ろしくはない





聖邪のコトワリ end